

児童クラブだより9月号

2022年9月1日

社会福祉法人ピスティスの会

中部放課後児童クラブ 分室

夏の暑さがまだ残っておりますが、夕刻の空気やそよぐ風、虫の声には秋の足音を感じます。

夏休み中は、児童クラブで生活する時間がいつもより長く、子どもたちも一日の流れをゆったりと感じていたようで穏やかに毎日のクラブ生活を過ごしました。また、今年の夏も気温が高い猛暑日が続き、熱中症の心配がありました。しかし、子ども達は職員が呼びかける前に自ら給水し、一人ひとりの成長と生活意識が高まっていると感じることができ、嬉しく思いました。

夏休みも終わり、2学期が始まります。残暑に加え、感染症と対応する日々がまだまだ続きそうですが、水分補給と感染症予防を大切に、健康面に留意しながら秋の始まりを子どもたちと過ごしてまいります。

クラブでの生活の様子



子ども達に工作の楽しさを味わって欲しいと思い、時間に余裕のある夏休みを利用して「コースター」と「バスボム」を作りました。

「コースター」の材料は100円均一で揃えることが出来ます。作り方は土台に色タイルをボンドで貼り付けていだけなので簡単です。完成したコースターは子ども達の個性が表れる作品になりました。

完成したバスボムです。材料は重曹、クエン酸、片栗粉を使って作りました。バスボムの中にはおもちゃが入っています。かわいい作品が出来ました。



室内遊びの場面です。左の写真はカブラと指人形を使って家をつくっていました。

カブラは子どもにも人気の玩具です。

右の写真はサッカー盤で男の子達がチームに分かれてよく熱中して遊んでいます。

8月24日(火)はハーベストキッチンの手作りおやつの日でした。この日は「スペシャルおやつ」として、子ども達が配られた材料を自由に組み合わせてパフェを作りました。皆各々、パフェを楽しそうに組み合わせていました。それぞれが楽しんで作り「美味しい!」と喜んでいました。

ハーベストキッチン 手作りおやつ

9月8日(木) カレーピラフおにぎり

9月22日(木) かぼちゃドーナツ